

図書館再編についての懇談会 実施報告

現在、舞鶴市図書館基本計画に基づき進めている図書館再編の経緯や、市としての方針について説明しご理解を得るため、あわせて今後の図書館についてご意見を伺うため、「図書館再編についての懇談会」を4回開催しました。

参加者からの主な意見は以下のとおりです。

■第1回：令和6年4月17日（水）

【参加者の主な意見】

- ・自分の知っている人100名に聞いたら、東図書館がなくなることを知らない人ばかり。市が中央図書館の整備を進めているのであれば、それに対しての意見を市が聞かれたらどうか。こんな懇談会では意味がない。
- ・この市民の声を市長にちゃんと伝えてほしい。持って行ってほしい。
- ・中央図書館ができてサービスが良くなって、とか言われるが、もっと現状をみてほしい。今もできていないことを中央図書館ができてレベルが上がるなんて言われても信じられない。
- ・図書館が身近にないと本を借りられない。遠くなったら借りられない。
- ・中央図書館は必要なのかというのが、市民で意見が分かれているところだと思う。
- ・現状は分館等もあるが、実際の図書館としては機能しておらず、東西図書館の援助も十分ではない。やはり、銀行のような中央からのサービスというように中央図書館は必要と思う。
- ・市は中央図書館を推進しているが、全市民の賛成の元でやっているのか。まず、なぜ賛成か、なぜ反対かとの意見を聞くべき。
- ・図書館計画がなかったこと、図書費がなかったことが問題。
- ・わざわざ図書館がなくても、ほとんどがソフトの話。図書館運営に際して予算・人の問題もあるかもしれないが、職員が持てる力を出し切ってやってきたといえるのか。
- ・人口も減ってきて、図書館のニーズも高まっているわけでもない。土日にたくさんの市民が来てキャパが足りないわけでもない。まず、図書館の利用ニーズが高まってから、大きい図書館を建設するというのが筋と思う。
- ・学校帰りに利用している子供たちが、実際西舞鶴まで自転車で行けない。
- ・自動車図書館などは、現在でも導入できる。
- ・図書館ができることは反対しないが、やり方が違うと思う。
- ・中央図書館をつくっても、利用者が少なかったら、誰が責任をとるのか。38億円も出して、子どもの数も減ってきている。電子図書館も推進しているのに、利用が増えるとは思えない。
- ・図書館廃止を知らない市民が多いので、広報まいづる等に「図書館を廃止します。意見をください。」と市民に周知し、小学生から子育て中の方、高齢者など利用者の意見を全部聞いてもらいたい。

- ・他都市の図書館と比較されていたが、人口レベルも交通レベルも違う。夜9時まで電気もついている、ライトアップされた町並みとはちがう。
- ・計画の説明の仕方が不十分。市民に積極的に説明する努力が欠けていた。
- ・中央図書館をつくるという以前に、本を動かす等の地域間の整備計画をつくる必要があり、それをやって中央図書館がどの程度の規模が必要なのかという話を聞くのがいいと思う。
- ・図書館がよくなることは反対していない。その過程がおかしいと思う。データ資料とか予測があまりにも杜撰すぎる。38億円使われたくないし、市民サービスも削られたくない。
- ・基本方針はハードとは関係ない。ソフトだけでも実行できる。
- ・市民の声を聴かないで、38億円投資されても困る。税金なので。
- ・小学生はどうでもいいのか。紙芝居を見ている親子が西舞鶴までは行けない。
- ・給食無償化後は医療も逼迫しているんだったら、図書館の優先順位は低いと思う。
- ・何か中央図書館も耳障りの良い事ばかり言うが、利用者も減るし、赤字になり税金が無駄になるのはやめてもらいたい。

■第2回：令和6年4月23日（火）

【参加者からの主な意見】

- ・中央図書館ができることは楽しみにしている。だが、反対の人がいるのも知っている。どうして反対の意見が出るのかなと考えたときに、周知が不十分なのではないかと感じた。レファレンスという言葉の意味や、課題解決型図書館とはどんなものなのか等も含め、図書館再編の説明が足りないのではないかと感じた。
- ・「分館を充実させていく」ということには期待しているが、どこにどのような規模でどんな風に考えているか、ということが、今一つ見えてこないのが不安を感じる人も多いのではないかと感じる。言葉の説明だけでなく、イメージを伝えてもらえると安心する人も増えると思う。
- ・今も司書さんにおすすめの絵本など聞いてみたが、忙しそうで声をかけづらい。レファレンス専用の窓口があって、常に司書さんがいてくださると聞きやすい環境になると思う。
- ・中央図書館になったとき、図書館司書ももっといようになるのではと思うが、働きたい人は多いけど時間的に融通がつかない人も多いのではないかと感じる。時間単位などの雇用条件も検討していただけたらうれしい。

■第3回：令和6年5月10日（金）

【参加者からの主な意見】

- ・図書館は身近なところにあるもの。東の図書館を縮小するというのはどうかと思う。今このタイミングではなく、もう少し練り直した方がいいのではないかと感じる。本格的にやるというのであれば、福知山のような複合施設のようにするとか、もう一度検

話し直した方がいいのではないか。その費用は図書費にまわしてほしい。

- ・分館の充実と言っているが、充実ではない。その言い方はどうかと思っている。
- ・東図書館をとにかく残してほしい。もしくは、同程度の広さで別のところを確保するか。複合施設でもいいので、今のスペースを確保していくことを考えてほしい。そのためにはいろんな運動を盛り上げていきたい。
- ・選書の過程で、市民も入れるようにしてほしい。
- ・図書館集約の話は、手元のコストカットの問題で生まれた話であり、市民からあがったものではない。誰が望んでいるのか。決まった話をして「懇談会で意見を聞く」なんて、おかしい。これで「市民の声を聴いた」なんて、市民をなめてる。
- ・東舞鶴と西舞鶴は文化の違うまち。なんで東西に分かれているのか。今までなぜこうなっているのか。そういうことを考えたのか。先人のやってきたことはどうなのか。良いとは続けていけない。
- ・市民の行政サービスは平等であるべき。東の図書館なくして、東の人間は切捨てられ、行政サービスの格差が生まれている。これは人権問題だ。
- ・舞鶴市全体という考えがおかしい。舞鶴市は東西あることを忘れてはいけない。
- ・中央図書館を建てることは理解しているが、駅前に建てることと決めたのなら、この町をどう発展させるか、この土地をどう活用すべきかということのほうが優先する。それなのに、どんな図書館をつくるかという議論ばかりしている。違うと思う。
- ・この町の成り立ちを考えたときに、身近なものである図書館を縮小するというのは、東の人達も納得できないのではないかなと思う。ワークショップを通じてよくわかった。
- ・東図書館を残してほしいという市民の声があがっているのに、なぜ聞いてくれないのかがわからない。
- ・どういう分館になるのか、明らかにされていないから納得もできない。既存施設ですよといわれると、今の場所から発展するとは考えられない。市民の意見を聞いて、残すか同規模で残すべき。市民の計画を聴いて計画を変更してほしい。
- ・主権者はわれら市民。主権者の意見を反映した図書館にしてほしい。
- ・せっかくこういう懇談会の場を設けてもらったんだし、一度立ち止まってほしい。
- ・決定権の持った市長が来て話を聞いてほしい。

■第4回：令和6年5月18日（土）

【参加者の主な意見】

- ・東西への集約や中央図書館の建設については、絵にかいた餅。エビデンスがない。まずは、相談窓口とかやってみて、その機能ができるかどうか…そういうことをやった上でないと、あまりにも数字がなく説得力がない。
- ・これだけのことをやる前に、いきなりやるのではなくて、その前にやれることがあるんじゃないかなと思う。

- ・ 少ない図書館経費を地元の一般市民に重点的に使ってほしい。
- ・ 歴史からいうと二つの町が一つになったのではあるが、いつまでもそんなことっていられない。こっちが舞鶴の半分とか1/3とかの話じゃない。4つの国が連邦としてあるようなもの。ウクライナとロシアみたいな風にならないように前向きにとらえていきたい。
- ・ この懇談会の意見は反映されるのか、聴くだけなのか。一方通行で意味ない。
- ・ もう一回審議会があるならば、市民の意見を反映するような取組をしてほしい。
- ・ 基本的に地域のことを考えてほしい。なぜあの場所に建つのか不明。建設費30億かけてやるのが、この財政的にも厳しい折りに必要なのかと思う。それなら、東西の改修費に回してほしいと思う。
- ・ 中央図書館というものが必要なかわからない。でも、できるというなら、そこへの巡回方法について考えてほしい。